ふるさとを想う

ふるさと五城目会に入会しました

錦織　隆生
（埼玉県所沢市出身）

はじめまして。この度、ふるさと五城目会に入会した錦織と申します。私は埼玉県所沢市に居住しておりますが、祖父が五城目町で生まれ、旧五城目町の町長を務められた北嶋卯一郎さんと従兄弟関係であることなど、五城目町との深いご縁を感じております。

祖父自身は若くして町を離れましたが、父が戦争に向かう際には北嶋家で壮行会が開かれたと聞き、先祖代々の墓が五城目町内にあることから、五城目町とのつながりを大切にしています。父が、能代にいた叔母から墓守（はかもり）を継承して以来、毎年5月の連休にお墓参りのために五城目町を訪れることが恒例となり、コロナ禍で2年中断しましたが、今年で40年の歳月を数えました。父が亡くなった後は弟と2人でその役目を引き継ぎ、五城目町の歴史や自然に触れることを毎回楽しみにしています。

これまで五城目町を訪れては、森山や五城目城、映画「釣りキチ三平」の舞台ともなった馬場目川上流など、豊かな自然に触れる機会を得ました。とはいえ、まだ訪ねていない場所も多く、1年の時間があっという間に過ぎる中で、しっかり計画を立てないまま再訪しては、「また次回に」と思うことが続いております。

まだ子どもが幼い頃は、家族と共に寝台列車で訪れることもあり、この3年は孫も一緒に訪れていまして、年中行事として今後も続けられたらと思っています。

秋田新幹線「こまち」のおかげでアクセスが便利になったとはいえ、所沢市から五城目町は「ちょっと行ってくるね」という距離ではありません。しかし、ふるさと五城目会からのお知らせや町の広報紙を通じて情報を受け取ることで、五城目町を身近に感じることができ、大変ありがたく思っています。

ふるさと五城目会の皆さまには、これまで接点の少なさから申し訳なく思う気持ちもありますが、五城目町に対する深い思いを抱いております。この思いを基に、五城目町や会員の皆さまとのつながりをこれからも大切にしていきたいと考えております。

家族と共に五城目を訪れた際の様子（一番左が錦織さん）

ごじょうめの文芸

【短歌】

双眼鏡のぞけば何か夢のある景に見えたり　山の彼方は　下樋口　小熊　正明

老いぬれば心しぼみてゆく吾に一日一日をムチ打ち生きん　古川町　小濱　キヱ

五つある散歩の道の一つにて成木となりしその下をゆく　八郎潟町　畑澤　英子

【俳句】

雉の声朝一に聞き目覚ましに　湯ノ又　松橋テル子

青嵐竿の野良着は胸を張る　昭辰町　本間　富子

二重虹こころ奪われこの地まで　湯ノ又　畑澤トミ子

【川柳】

やがて皆落ち着く場所に根を張って　長　町　平川のぶ子

さくら舞う空を悠々鯉のぼり　新　町　大原美どり

限りない夢を味方に満ちている　八郎潟町　桜庭　湖風

失敗の涙は脱皮するチャンス　新畑町　渡辺　松風

集落支援員の

つながるGojome!（ごじょうめ）

集落支援員とは？
地方自治体から委嘱を受けて集落の維持・活性化を支援しています。

こんにちは！集落支援員の越高です。「支援員って何しているの？」という方も多くおられると思いますが、2年目で、少しですが住民の皆さんとつながることができるようになってきていると感じています。

現在行っている戸別訪問では、多くの皆さんのお話を伺い、住みやすさ、住みにくさ、寂しさ、嬉しさ、など様々な想いに、日々うなずく自分です。

テレビでも聞いたことがありますが、五城目でも、遊び仲間がいたり、親族がいたりしても、「孤独を感じることがある」という方が沢山います。わたしたちは、ただ「いる」ことができる、共感を感じられる場や、本来の自分を出せるような余白のある場をつくりたいと思います（頼って下さいネ！）。

6月15日は第2回「馬場目の未来を語る会」を開催しました。県農山村振興課からは、事例や住民による活動報告などがあり、有意義な会となりました。6月28日は男鹿市の集落支援員さんや住民さんと一緒に意見交換やランチづくりをします。

徐々に皆さんの所へもお邪魔しますので、よろしくお願いいたします。

6月の「馬場目の未来を語る会」

「貸し棚おうみや」で行った味噌玉づくりの様子

第75回「社会を明るくする運動」～7月は強調月間～

「社会を明るくする運動」は、全ての国民が、犯罪・非行の防止や罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築く全国的な運動です。

7月5日㈯午前10時から、朝市通りで、保護司会・更生保護女性会の皆さんによる**「朝市キャンペーン」**を行います。犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力を育みましょう。

昨年に実施した「朝市キャンペーン」の様子

子育て世帯応援給付金事業

18歳までの子どもがいる世帯に、子ども1人当たり2万円を給付します。

●対象世帯
令和7年7月1日現在で町住民基本台帳に記載されている18歳までの子どもがいる世帯

●申請方法
7月中旬頃までに対象世帯へ書類を発送します。申請が必要な方には、申請書を同封しますので、町健康福祉課へ申請してください。

●申請期限　8月15日㈮

申・問 町健康福祉課（☎853・0705）

五城目町シルバー人材センターでは
お仕事承ります
主な仕事内容　大工・左官関連、襖（ふすま）・障子張り、草取り、草刈、薬剤散布、樹木の剪定、立木伐採、水田作業、畑作業、ハチの巣駆除、廃棄物運搬処理、清掃・片付け、冬囲い、除排雪、宛名書き、賞状書き、チラシ配布、買い物代行、病院付添い、他　要相談

一般社団法人 五城目町シルバー人材センター
〒018-1725 五城目町西磯ノ目一丁目6-10
（五城目町保健介護支援センター2階）
☎853・8701